

快適エコハウス

住まいのウチイケ環境セミナー 室蘭



エコハウスをテーマに開かれた住まいのウチイケ環境セミナー。

住まいのウチイケ（室蘭市八丁平、内池秀光代表取締役）主催の環境セミナー2017が15日、八丁平の同社研修センターで開かれ、市内外の建設業者らが快適性と省エネ性能を併せ持つエコハウスへの理解を深めた。（山田晃司）

省エネ冷暖房システム紹介

西胆振、札幌の業者などから24人が参加した。最初に前真之東京大学大学院建築学専攻准教授が講演。「冷気は重たく、室内に下から入ってくる。暖気は軽く、上から逃げる。この空気の流れを止めなくてはいけない」と快適な暖房のための課題を説明した。

住まいのウチイケがこの日からデータ計測を開始したモデルハウスの冷暖房新システムを例に挙げ「エアコンの暖気を床下を送ると、頭と足元の温度差が少なく、適正な床温度になる」と利点を指摘した。

続いて同システムを共同開発したシステック環境研究所（札幌）の落合総一郎所長がシステムの性能を紹介した。この後、参加者らはモデルハウスを見学し、エアコン1台で全室を冷暖房できる先端技術に目を見張った。